

ええもん発見!!

H O P E ゾーン

船場

vol.7

発行日：2011年3月31日

発行者：船場地区HOPEゾーン協議会

編集長：藤原久恵(協議会理事)



船場地区HOPEゾーン事業

平成22年度 まちなみ修景工事が完成しました!

船場地区のまちなみガイドライン「船場のまちなみ作法」に沿った修景が、3件完成しました。昨年度に引き続き、どの建物も、従来の姿に磨きをかけながら、

‘いま’の船場を意識した新しい要素を加え、これまで以上に魅力的な建物となりました。



北浜レトロビルヂング

建築年：1912(明治45)年
北浜1-1-26

もうすぐ築100年の小さな洋館。オーナーと工事に関わった皆さんの熱い思いが随所に輝いています!



修景概要

建物外観を飾る淡い色のタイルや印象的なペーパーミントグリーンの屋根、昔ながらの木製の窓枠の汚れや傷みを念入りに再生・修復するとともに、大きなティーポットのオブジェやライトアップ設備の設置など新たな演出が加わりました。土佐堀通側の建物正面だけでなく、土佐堀川側からの見え方も意識した修景となっています。

旧小西家住宅 蔵3棟

建築年：1903(明治36)年
道修町1-6-9

塀筋の顔のお化粧直し。堂々とした漆黒の佇まいはさすがです!!



修景概要

敷地北側に並ぶ衣裳蔵など蔵3棟の屋根が修景により美しく生まれ変わりました。状態の良い瓦をできるだけ再利用するなど、時代の記憶を引き継ぐ工夫がなされています。あわせて主屋を含む建物全体の修復工事も行われ、建物正面の樋(とい)や設備機器等の目隠し柵など細かな配慮も施されています。

青山ビル

建築年：1921(大正10)年
伏見町2-2-6

建物正面を大リニューアル。新しいテラスからの眺めは素敵に違いありません。鶯(つた)に覆われる夏が待ち遠しいです!



修景概要

外壁の汚れや傷みの修復などの修景に加え、建物正面2階に設置されていた大きな設備機器を撤去・移設し、洋風邸宅の雰囲気にあったテラスを新設しています。また、1階開口部への飾り扉の設置などにより、建物正面の全体的な外観イメージが向上されています。

修景補助制度について

大阪市まちなみ修景補助制度とは?

船場地区のまちなみガイドライン「船場のまちなみ作法」で提案している、船場ならではの「花なりましたまちなみづくり」の実現に向けた大阪市のサポート策で、船場地区においては、

- ・近代建築の再生・活用に関する修景整備
- ・通・筋、エリアの個性を活かしたオープンスペースや建物の修景整備※

※現在、道修町通沿道、三休橋筋沿道で実施中

に取り組みの際に、一定の要件を満たせば、その工事費の一部を市が補助するというものです。

協議会では、この制度が不公平感なく、より効果的に、みんなが納得できる修景整備に活用されるよう、建物等の所有者の皆さんと情報交換しながら、各年度毎に修景補助対象物件の調整(修景内容や順番など)等を行っていきたく考えていますので、ご理解・ご協力のほど、よろしく申し上げます。

この制度に「ちょっと興味がある」、「話が聞きたい」という方は、協議会役員までお気軽にご相談ください!

具体的な補助対象や補助金の限度額等については、
大阪市都市整備局住宅政策課(まちづくり事業企画)
Tel.06-6208-9221・9222まで

速報* 緑とガス灯が映えるまちなみ

三休橋筋のまちなみガイドラインが完成しました!!

詳細については、中面をご覧ください。



HOPEゾーン事業

ほーぷぞーんじぎょう

大阪の居住地イメージ・魅力を高める歴史的・文化的な雰囲気にも恵まれた地域において、地域で活躍する様々なメンバーから成る「協議会」を中心に、地域と行政が連携・協働してまちなみづくりに関わる活動を展開しながら、地域特性を活かした建物やオープンスペースの修景整備等、具体的なまちなみづくりに取り組んでいく事業。

●HOPEゾーン事業についてのお問い合わせ
大阪市都市整備局住宅政策課(まちづくり事業企画)
Tel.06-6208-9221・9222

平成22年度 活動報告

今年度は、会員制度のリニューアルやイベントを地域全体に展開するなど、活動をパワーアップ。まちなみづくりの指針をまとめた「船場のまちなみ作法」の三休橋筋編も完成し、船場のまちなみづくりが、またひとつ前進しました。

イベント報告 船場地区HOPEゾーン協議会 主催イベント 「船場博覧会2010～せんばのまちからこんにちへ～」

2010年11月22日(月)、23日(火・祝)の2日間、「船場博覧会2010～せんばのまちからこんにちへ～」を開催しました。協議会のイベントは、今回で3回目。毎年、会場に足を運んで下さる方もいて、少しずつ、まちの皆様にも認知していただけるイベントになってきたことを嬉しく思います。今回は、初の試みとして、メイン会場の「辰野ひらのまちギャラリー」だけでなく、船場のまち全体を会場にして盛りだくさんな企画での開催となりました。ご協力・ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。



船場博覧会のパンフレットとロゴ入り「缶バッジ」

まちなか会場 船場のあちこち

企画1 「船場OPEN HOUSE」

普段はあまり公開していない建物の内部を特別に公開し、建物オーナーにご案内いただくツアーや日時限定でのフリー見学を企画。会場と会場を猛ダッシュで駆け巡り、お目当ての建物を見学している方もいらっしゃいました。

OPEN HOUSE協力建物：ツアー形式10件 フリー形式4件



村野藤吾設計の「輸出繊維会館」にて、壁一面に施されたモザイクタイルに感心するみなさん



船場の老舗「花外楼」にて、代々伝わる掛軸の説明をする社長

企画2 「まちなか『パビリオン』」

エリア内の飲食店やショップ、ギャラリーのみなさんに「パビリオン」として参加いただき、イベントのPRを行うなど、船場博覧会を盛り上げていただきました。さらに、イベントにちなんだ特別メニューや特典の提供をしていただいた「パビリオン」もあり、船場をさらに楽しんでいただけたのではないのでしょうか。

メイン会場 辰野ひらのまちギャラリー

企画1 「ザ・船場な戦後ビル展」と「戦後ビルトークショー」

メイン会場では、「船場の戦後ビル」をテーマにした写真展「ザ・船場な戦後ビル展」を実施。協議会で厳選した戦後ビル(1950～70年代建設)を紹介するとともに、ビルオーナーのご協力により、建設当時の貴重な資料をみなさんに見ていただくことができました。また、23日には「戦後ビルトークショー」と題して、戦後ビルをこよなく愛する高岡伸一先生(大阪市立大学都市研究プラザ特任講師)に、戦後ビルへの熱い想いを語っていただきました。近代建築とは違った趣があり、シンプルながらも遊び心のある戦後ビルの魅力を知ることができ、とても興味深いお話でした。



企画2 「船場ことば劇場」

「伝統を守るなにわの会」のみなさんに、むかしの船場の商家の年末年始を題材にしたオリジナル劇「冬の巻」のシナリオを、美しい響きの「船場ことば」により披露していただきました。また、当時の風習などのお話や、会場からの質問などに答えていただきました。ちなみに「秋の巻」はないそうです。・・・秋ない・・・商い(あきない)・・・。



同時開催 少彦名神社ご鎮座230年大祭 特別行事「みんなの絵馬展」と「昔も今もこれからも“日本の元気”を守る家庭薬」



こどもが描いた素朴なかわいい絵馬から、プロの作品のような絵馬まで約200枚近い作品を壁一面に展示。それぞれの願いが込められた個性豊かな作品たちに圧倒されました。家庭薬の展示では、昔の薬のパッケージなど懐かしいものがあり、メイン会場を盛り上げてくれました。

近代建築等部会

リーダー 末澤昭宏

今年度は、主に次の2項目に重点を置いて活動いたしました。

近代建築や戦後ビルなどの「まちなみ資源」の啓発活動
11月の「船場博覧会2010」の「ザ・船場な戦後ビル展」では、昨年度に調査した建物データや収集した建設当初の貴重な写真を展示、併せて「OPEN HOUSE」や「街角探訪ツアー(主催:堺筋アメニティ・ソサエティ)」など、多くの皆さまに船場のまちなみの魅力をPRすることができました。また、3月の「春のまち歩き&クルージングツアー」では、旧小西家住宅や青山ビル、北浜レトロビルディングなどの今年度のまちなみ修景建物を中心に船場の魅力的な建物をご紹介いたしました。なお、昨年度に製作しました「船場の戦後ビルMAP」は、大変好評を博し、「戦後ビル」という船場の新しい「まちなみ資源」の開拓に、ひと役買いました。

調査研究活動
新たな「まちなみ資源」として、木造建築物の調査研究に着手しました。町家等の伝統的な様式を残している建物の立地状況や現状等を把握し、船場のまちなみの成り立ちや伝統的な木造建築物について整理をし、将来の保存・再生・活用の一助としたいと考えています。

活動を通じて、改めて「船場のまちなみ」の大きな可能性を実感すると共に、オーナーや地元の皆さん、各種団体との積極的な協働が、より魅力的なまちづくりには必要不可欠であると痛感いたしました。

道修町部会

リーダー 別所俊顕

今年度は、旧小西家住宅の蔵のまちなみ修景に併せて、主屋の道修町側に面する部分についても、まちなみにあわせて整えていただくように提案し、実現いたしました。

以前から、「道修町側の入口横に置かれた空調室外機と、塩化ビニル製のぬすみ色の壁紙(たてどい)が、重要文化財である旧小西家住宅の佇まいに合っていないよね」という声を聞いていました。今回、蔵の修景や主屋の改修工事を行うということを知り、当部会としては「空調室外機を移設又は、囲いや塗装で目立たなくしてください」「壁紙を銅製にしてください」という2つの提案をさせていただきます。この提案を受け入れていただき、道修町側の佇まいに更に磨きがかかりました。昨年度に修景をした隣の駐車場とあわせて、道修町のすばらしいまちなみが形成されています。

このように、少しずつですが「道修町のまちなみづくり」は進んでいます。これからは「道修町 元気なまちなみ 未来がみえる」をまちなみづくりの合言葉に、活動を進めていきたいと思います。

その他活動報告

1 船場で活動する仲間たちが主催する様々なイベント。協議会では様々なカタチで、船場の魅力的な建物をじっくり楽しむお手伝いをさせていただきます。

春のまち歩き&クルージングツアー 3月18日(金) 21日(月)

堺筋アメニティ・ソサエティ、東横堀川水辺再生協議会、中央区との共催



18日 オーナーの案内で、普段は入ることができない旧小西家住宅を、すみずみまで見学するツアー参加者。生駒ビルディングも同様にじっくりと巡り、産業創造館、クルージングへ。



21日 少彦名神社にて別所宮司の解説を聞くツアー参加者。このあと、旧小西家住宅、伏見ビル、青山ビル、北浜レトロなどの建物を巡り、クルージングへ。

北船場近代建築サミット in 旧・八木通商ビル 3月19日(土)

船場近代建築ネットワーク主催



協議会でもガイドラインの策定など、まちなみづくりに向けた取り組みが進む三休橋筋に佇む「旧・八木通商ビル」を会場に、船場近代建築ネットワークメンバーである船場の近代建築オーナーの皆さんから、建物の活用についてなど貴重なお話を伺いました。

2 今年度の活動PRグッズは「船場の老舗案内はんかち〜ふ」。明治15年に刊行された買物案内ブック「浪華の魁(なにわのさきがけ)」に掲載され、現在も船場で活躍を続ける7つの老舗を散りばめたシックなデザインです。平成23年度の賛助会員(年会費必要)にお申込みいただいた方には、もちろん1枚プレゼント!! 数に限りがありますので、お早めに手に入れてください。

※「浪華の魁」は、澁谷利兵衛商店の澁谷善雄氏が大切にこ所有されているものを借りしました。



三休橋筋のまちなみガイドラインについて

まちなみづくりの合言葉「緑とガス燈が映えるまちなみ」

船場の中心を南北に貫く「三休橋筋」。青空に映える榊木(せんだんのき)が立ち並び、夜はほのかなガス燈の明かりが灯ります。協議会では、ここ「三休橋筋」でしかできない、まちなみづくりをみなさんと一緒に考え、進めてきました。

このガイドラインでは、これまでの話し合いをもとに、三休橋筋の魅力をより高めるよう、まちなみの将来的なイメージや、個々の建物・お店の外観等の整え方(修景)のポイントなどを提案しています。修景のポイントの一部をご紹介します。

修景(しゅうけい)のポイント

1 三休橋筋にふさわしい佇まいに整える

建物の外観を上質で落ち着いたものとなるよう工夫しましょう。歩く人の視線やまちなみの連続性にも配慮しましょう。 など

2 緑とガス燈を活かす、まちを演出する

緑や花など潤いのあるまちなみを演出しましょう。看板や広告やテントなどは、まちなみのまとまりをつくるよう整理しましょう。建物からの灯りに配慮しましょう。 など

個々の建物がまちなみづくりを考え、形にしていこうとすることで、三休橋筋としてまとまりのあるまちなみがつくられていきます。沿道の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。これからの三休橋筋のまちなみにご注目ください。



ええもん発見!! 11

備後町三丁目 輸出繊維会館 備後町 3-4-9

ゆしゅつせんいかいかん



輸出繊維会館は、建築家・村野藤吾(むらのとうご)の設計によって1960(昭和35)年に建てられました。鉄筋コンクリート造、地下3階 地上8階建ての直方体の建物です。トラパーチン(イタリア産大理石)の外壁は洗いが行き届き、いつもきれいな外観が保たれています。ホールやグリル・会議室などの会館機能が1階と地下に設けられ、専用入口を持ちます。2階からは貸オフィスとなっています。角の丸い窓や会館入口ポーチ、階段の手摺、内装などのデザインに船がイメージされます。画家・堂本印象(どうもといんしょう)の手による1階ロビーモザイク壁画と会館ホワイエのタペストリーは「海」と「船」をテーマに描かれ、ビルの船のイメージにマッチして見ごたえがあります。そして、このビルの「ええもん」選りすぐりは、ビルの上に立つ格好のいい塔?! 実は間近からは見えないんですけど・・・残念!!

ええもん発見!! 12

瓦町三丁目 平岡珈琲店 瓦町 3-6-11

ひらおかコーヒーター



創業は大正10年(1921)。初代・小川忠次郎が、平野町四丁目(現・三丁目)に当時としてはめずらしいコーヒーの専門店を開業。船場の旦那衆やハイカラな商社マン、演劇関係者などで賑わいました。代が変わって三代目となっても、店主が自ら焙煎するブレンドコーヒーと手造りのドーナツは今も健在です。店内はギャラリーとなっていて、写真、水彩画、イラストから書や能面まで様々な作品が3週間ごとに展示替えされます。また、当代店主は郷土史家、武道家の顔も持ち、毎年7月の御霊神社夏大祭では居合道の演武を披露しています。

会員募集中

「船場」ならではの魅力を活かしたまちなみづくりをめざして、一緒に活動しませんか?

船場地区HOPEゾーン協議会では、具体的なまちなみづくり活動を進めていく上で、参加・協力・支援いただける仲間を募集しています。登録会員(登録料無料)もしくは、賛助会員(年会費必要)に登録いただいた方には、協議会の活動情報をお届けします。船場のまちなみづくり・まちづくりに興味がある!という方、ぜひ、ご登録ください。※詳細につきましては、お近くの役員または協議会ホームページ semba-hope.main.jp をご覧下さい

船場地区HOPEゾーン事業

第4回総会 開催のご案内

日時: 平成23年5月30日(月)
19時開会(18:30開場)

参加無料 どなたでもご参加いただけます

場所: 辰野ひらのまぢギャラリー
(平野町1-5-7 地図参照)

主な内容(予定)

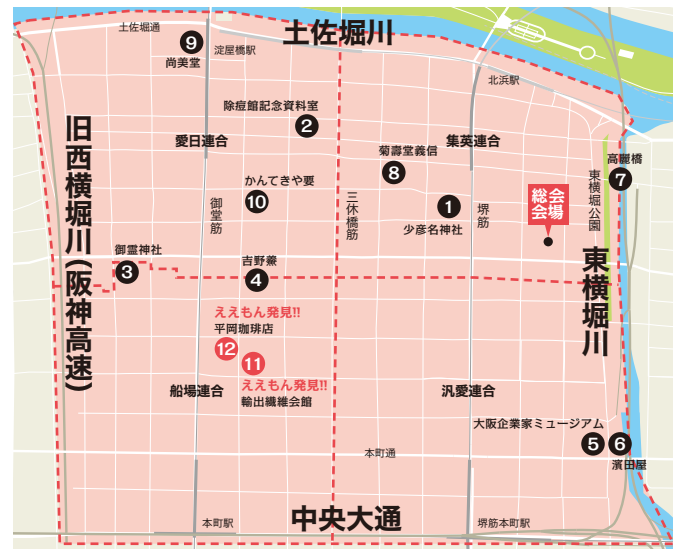
平成22年度 活動報告
平成22年度 決算報告・会計監査報告
平成23年度 活動内容(案)・予算(案)

総会終了後、会場で平成23年度の
会員申込の受付を行います。



船場地区HOPEゾーン 事業対象エリア

[約126ha]



編集後記

この度の東日本大震災の被災地の皆様に心よりお見舞い申し上げます。大阪から元気を、このニュースを出すことで届けられたらうれしいと思います。今回もたくさんの皆様のお支えの中、7号を発行することが出来ました。深くお礼申し上げます。毎回好評の「ええもん発見」も、戦後建築の輸出繊維会館、歴史のある平岡珈琲店です。足を運んでみて下されば、よき船場が息づいていることがお分かり頂けるかと思えます。(編集長 藤原)